角田市ふるさと安心米生産組合協議会の取り組みについて

角田市ふるさと安心米生産組合協議会
会長　三瓶　隆一

角　田　市　の　紹　介

宮城県南部に位置

西を蔵王連峰、東に阿武隈山脈

中央を阿武隈川が雄大に流れる

宮城県南初のカントリーエレベーター
角田市に令和３年９月竣工

生もみ2,100ｔ貯蔵でき、自然風で乾燥
車両ごと計測できるトラックスケールは宮城県内初

角田市ふるさと安心米取り組み状況

（令和6年）

組織発足	平成 元年
栽培面積	618 ha
栽培組合	32 組合
参加農家	324人

ふるさと安心米栽培基準（マニュアル）

安全安心を追及！

できるだけ農薬に頼らない栽培を基本に協議して栽培基準を決定しています。

環境にやさしい農産物認証制度（特別栽培米第三者認証）参加

①化学農薬・化学肥料を一般的な栽培の５割以下に減らしている
②堆肥等による土づくり
③現地確認の実施

農水省新ガイドラインによる特別栽培米表示のほか、宮城県知事認証（第三者）を毎年受けています。

こだわりの土づくり

角田市にある「農業の館」の堆肥、
土づくり資材の共同一斉散布を実施
しています。

栽 培 品 種

ひとめぼれ・つや姫・ササニシキ・コシヒカリ・
みやこがねもち（5品種）

交　流　活　動

田植え交流会

交 流 活 動

生き物調査

交 流 活 動

稲刈交流会

交 流 活 動

バケツ稲コンテスト

交流活動があることで・・

○農業を体験してもらえる。
○一緒に楽しめる。
○自分たちの取り組みを知ってもらえる。
○気持ちと想いがわかってもらえる。
○応援してもらえる！
○明日もまた頑張れる！

『雑草対策』に多くの課題を抱える生産者

田植えをしたら終わりではない。
収穫までには様々な作業がある。
米づくりは決して楽なものではない。

農薬を使わずに畦畔雑草・水田雑草・カメムシ
被害を防除するのは大変な事なんです。

令和６年５月みどり認定
宮城県内・団体初